Kami Town Council News　No.75

かみ議会だより

令和5年9月定例会

香住高校海龍祭

今月のトピック

令和4年度決算決まる

香美町議会の情報はこちら

令和4年度　香美町一般会計・特別会計決算

まちの収入と支出を認定しました!

■ 一般会計

決算書より抜粋、1万円未満四捨五入

お金の出入り

収入（入ったお金）	156億 4,861万円
支出（使ったお金）	148億 5,168万円
差引額 （残ったお金）	7億 9,693万円 （内財調基金へ繰入額 3 億 6,800万円）

基金（まちの貯金）

財政調整基金 （町の将来に残したお金）	39億 7,820万円
減債基金 （返済に向けて蓄えるお金）	4 億 1,013万円
公共施設等 管理基金	8 億　39万円

収入（入ったお金）のうちの町税=収入済額（町民税や固定資産税等）は15億2,319万円でした。
地方交付税=収入済額は68億9,953万円でした。

■ 総合計画の項目に基づいた支出（使ったお金）

主要な施策より抜粋したもので、すべての支出ではありません。

1. ふるさとを担う子どもを育むまち 子育て、学校園教育、公民館活動やスポーツ振興等、文化財や文化芸術推進	13億 5,235万円
2. 若者がいきいきと働くまち 担い手、人材支援、雇用対策、産業振興、有害鳥獣対策他	9億 8,968万円
3. みんなが安心して暮らせる健康長寿のまち 健康、予防接種、健診、医療対策、民生、高齢・障がい者福祉、防犯、消費	28億 7,196万円
4. みんなで創る魅力あるまち 治山治水、消防防犯、除雪、道路整備、交通、水環境、移住定住、ふるさと納税等	30億 7,962万円
5. 地域の豊かな資源を生かすまち 海岸美化、花つくり、ごみ、し尿処理、クリーンパーク運営費等	2億　334万円
6. 協働によるまちづくりの推進 地域おこし協力隊、地域つくり、地域振興、自治会、男女共同、人権等	6,396万円
7. 経営的視点にたった行財政運営の推進 電算システム運営整備更新、基金への積立等	35億 1,432万円

■ 特別会計

決算書より抜粋、1万円未満四捨五入、よって金額が合わない場合があります。

事業区分	収入（入ったお金）	支出（使ったお金）	差引額（残ったお金）		決算年度末基金現在高
国民健康保険事業	21億 1,327万円	20 億 8,630万円	2,696万円	差額基金繰入	8,354万円
後期高齢者医療保険事業	3 億 2,953万円	3 億 2,882万円	71万円	次年度へ繰越	
介護保険事業	23億 9,624万円	23億 4,480万円	5,144万円	差額基金繰入	1 億 6,680万円
財産区	278万円	44万円	233万円	次年度へ繰越	
町立地方卸売市場事業	54万円	54万円	0 円		
国民宿舎事業	895万円	839万円	56万円		

令和4年度香美町一般会計及び特別会計決算の認定は、特別委員会（吉川康治委員長）に付託され、5日間の審査の結果「原案認定」と決し、本会議にて委員長の審査報告を経て、討論・採決の結果、一般会計・特別会計ともに認定しました。

一般会計決算質疑

質疑

教育総務課

問　香住区小学校再編検討委員会の検討（通学方法）実績は。

答　①現奥佐津小学校区は、基本的にスクールバスです。
②訓谷、無南垣地区は町民バス（1部スクール専用便）です。

こども教育課

問　要・準要保護児童就学援助費の目的は。

答　経済的理由により、就学困難な児童生徒を持つ保護者に対し学用品等の必要な経費の一部を援助し、義務教育が円滑に実施されることです。

生涯学習課

問　文化ホール事業費の効果は。

答　来場者は、コロナ以前の数に戻りつつあり、アンケート調査で各イベントは、一定の評価を得ており継続開催の意見も多く幾分効果は上がっていると考えます。

建設課

問　空き家等の除去に関する今後の見通しは。

答　国より令和5年空家等対策の推進に関する特別処置法の改正により、
①町に報告徴収権が付与され、所有者に対し、空き家の状況報告書を求めることができるようになりました。
②放置すれば特定空き家になるものに指導・勧告ができるようになりました。

健康課

問　がん検診受診率向上対策は。

答　検診は、1時間以内で終わり、節目年齢では無料であることをお知らせしながら早期発見・治療へと繋がる定期健診の大切さを周知していきます。

企画課

問　コロナ対策、タクシー運行事業継続緊急支援事業補助金効果は。

答　コロナの影響で経営不振に陥っていた日本交通㈱香住営業所はこの補助金がないと事業の継続が困難であったことから公共交通の維持・確保の観点から効果があったと考えます。

福祉課

問　高齢者等生活支援事業費の香住・村岡・小代区別利用実績は。

答　地域で利用実績に差異があり、特に介護タクシーでは事業者の多い香住が多く、業者の少ない村岡・小代は利用者が少ない結果となっています。

農林水産課

問　町単農業振興対策事業費インターンシップの効果は。

答　判断や独立就農のイメージ形成のきっかけとなり、「香住なしの学校」への入学を考えている候補生の進路判断の一つとなっています。

観光商工課

問　香美町特定地域づくり事業協同組合事業費の活動進捗は。

答　①令和4年4月21日県下初、知事の認定を受け、5月27日から職員派遣ができました。
②計画では当初5名でしたが実際には3名でスタートし、7月と11月に各1名を採用し計画どおりで職員派遣ができました。
③5年度は7名職員派遣予定です。

町民課

問　マイナンバーカードの紐付けで香美町では問題はなかったのか。

答　デジタル庁にマイナンバー情報総点検本部が設置され、紐づけ作業の実態把握が行われた結果、香美町は個別データの点検対象機関から外れており問題ないものと認識しています。

小代地域局

問　温泉保養館費令和4年度指定管理料は適正か。

答　令和4年度指定管理料は960万円です。令和3年度決算、当期純利益が約470万円の黒字であり、事業計画も収支が均衡しており適正と判断します。

※　各課に対する質疑は主なものを取り上げています。

香住なしの学校

国民健康保険税特別会計

問　小代診療所繰入金、赤字補てん分繰入と交付税繰入に分かれているのはなぜか。

答　地方交付税措置1診療所当たり7百万円、その他を赤字補てん分として記載しています。

問　未就学児均等割保険税軽減の実績について。

答　59世帯75人76万5856円の軽減されました。

後期高齢者医療特別会計

問　保険料①1割②2割③3割の各負担者の数は。

答　負担割合別の保険者数は
①3144人　②530人　③115人

介護保険特別会計

問　包括支援事業及び任意事業の前年比増額の説明は。

答　①介護支援専門員の一名増員による人件費の増。②社協委託業務生活支援のコーディネーター一名の増員補充による人件費の増。③社協委託業務配食サービス利用者減による委託料の減額。

問　地域ケア会議で抽出された課題の政策化は。

答　①高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク委員会の設立。②総合事業訪問型サービスCの運用。

町立卸売市場特別会計

問　香美町の水産を考える会における検討について町の介入状況やビジョンの提示などの進捗は。

答　一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所の費用を負担しています。

国民宿舎事業特別会計

問　指定管理者納付金の免除額は適正だったか。

答　全体としての経営は、引き続き厳しい状況であることから、適正な免除であったと考えます。

総括質疑

問　令和4年度新型コロナウイルス感染症対策の評価と町単独支援策の拡充が課題ではないか。

答　令和4年度当該予算の編成にあたっては、5つの項目を設定し、それぞれの項目に沿った取り組みを行いました。

問　進む少子化の令和4年度子育て支援策の評価と更なる子育て支援の拡充が課題ではないか。

答　子育て中の保護者の方にとって必要とされる支援をしっかりと分析して、今後の取り組みに反映させることが必要だと考えています。

問　高齢者に優しい公共交通が求められている。令和4年度各交通対策の評価と課題について。

答　本町はタクシー、JR、バス、飛行機など町民の公共交通の選択肢の確保が必要と考えていることから、特定の事業に特化した支援は難しいと考えています。

問　非正規職員が正規職員より50人以上多い職員体制で町民の要望に応えられるか。

答　正規職員が担う業務を非正規職員に置き換えているものではなく、適材適所に配置し、町民満足度の高い行政サービスが継続提供出来るよう努めています。

問　財政の評価と課題について、町民要求を実現できる財源は十分あるではないか。

答　今後も、予算編成にあたり、皆様にとってどのような施策が必要なのかを第一に考え、その結果、一般財源が不足する時には、財政調整基金を活用していきたいと考えています。

問　町民に対し、納得のいく公平かつ、希望に沿った決算内容であったか。

答　当初予算及び補正予算のいずれの編成においても、適時、必要と考える事項につきましては予算措置を行ってきたことから、不足はなかったと考えています。

問　各課での不用額が補正されれば、町民のための事業に充てることを考えることが出来なかったのか。

答　不用額が発生している状況につきましては、各課において予算額との比較・検証を行い新年度予算の編成に活かしていくことで、皆様のための予算編成に努めてまいります。

一般会計

討論

反対　谷口　眞治　議員

①　コロナ禍におけるマイナンバーカードの推進は個人情報漏洩が続き評価できない。

②　子ども医療費無償化で所得制限廃止と出産祝い金の創設を求める。更なる子育て世代の充実を求める。

③　高齢者のバスは予約しないと乗れない、県の行革下、老人会活動強化推進補助金の減額、高齢者大学の受講料千円の徴収は、容認できない。

④　最終処分場処理水の矢田川放流は問題が起こってからでは遅い。

⑤　ラスパイレス指数が県下ワースト1で職員の給料が少なく正規職員数が非正規職員より50人少ない。

⑥　令和4年度実質収支額7億3千万円のうち3億6800万円を

積み増しした財政調整基金43億4619万円は、住民要求に十分な財政規模があり、課題に思い切った基金の活用が求められる。
以上のことから反対する。

賛成　上田　勝幸　議員

役場の組織内外で頑張っている頭脳集団である執行部が創意工夫し、議会の大方の賛成を得た予算である。
住民生活の安心安全と後世につけを残さない財政運営に配慮し、厳しいコロナ渦の中、その都度補正予算を組み、適宜妥当な予算執行を心がけ、尽力されてきたと思う。
予算執行の過程で過誤、過失で住民に多大な迷惑をかけた事実はない。
以上のことから賛成する。

9月定例会において3議案が提案され、すべて原案通り可決しました。

質疑

■町道の路線を認定、変更及び一部廃止することについて

問　笠波峠線は、国道から町道へ、半ノ田線は県道から町道へなるが、新たに町道認定された区間の除雪管理はどうなるのか。バス路線となっている笠波峠線のバス運行はどうなるのか。

答　除雪について、今年度は引き続き国交省が行い、来年度町へ引き渡しされた後は、香美町が行います。バス路線については、現道沿いに集落や施設等があるので、利用者の利便性を損なわないため現道を運行します。路線区の住民からも現道での運行へ強い意向も聞いています。

笠波峠線のバス運行で現道での運行との事だが、冬季も現道で運行するのか。

答　冬季も現道で運行します。ただし、豪雪時で除雪能力を超える場合には、峠を通行止めとし、バスは新道を通る場合もあります。

問　来年度撤去される現道の消雪装置の工事主体は国交省なのか。香美町なのか。

答　国交省主体で撤去されます。

賛成全員で可決

■香美町空家等の適正な管理に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて。

問　「管理不全空家に対して、指導・勧告ができるようになった。」とあるが、管理不全空家として決定する機関はどこか。

答　従前の特措法では、特定空家の認定して勧告等を行っていましたが、今回の改正において、特定空家になる恐れのある状態で勧告ができる流れとなっています。その決定は自治体で行えると考えています。空家協議会の議題等にあげて決定していきます。

賛成全員で可決

討論

国民健康保険税特別会計

反対　谷口　眞治　議員

①県が推進する国保税の平準化そのものに賛同できない。
②令和4年度の国保税の引き上げを容認できない。
③均等割の軽減は未就学児だけでなく就学児に対しても免除すべき。

賛成　小谷　康仁　議員

個人負担分は増額されているが、医療分は県下で最も低い負担であり、事業も積極的に実施している。

後期高齢者医療特別会計

反対　谷口　眞治　議員

制度そのものに反対であり、令和4年度は負担増となった高齢者もいる。

賛成　小谷　康仁　議員

一部負担が増えた高齢者もいるが、現役世代が制度を支え続けるため、この制度そのものの維持は必要不可欠である。

人事同意案件

農業委員会委員

小代区 神水
田中（たなか） 憲二（けんじ）さん【新任】

農業委員会委員として
任命することに同意しました。

◆任期は令和5年9月19日から
令和8年4月20日までです。

正算補予

補正予算を賛成全員で可決

■専決処分をしたものについて承認を求めることについて（一般会計補正予算（第5号））

台風7号による災害救助法関連経費で、災害救助法第4条に規定された救助の種類をもとに、被災された方々に対して住宅の応急修理や障害物の除去等、災害に対して迅速に対応するため。

■一般会計補正予算（第6号）

5千万円の寄付があり、財政調整基金に一般寄付として積み立てる。歳出は、JRローカル線駅周辺活性化モデル事業補助金、社会福祉協議会補助金、老朽危険空家除去支援事業補助金、消防団員準中型自動車運転免許等取得費補助金、地域防災拠点整備事業費、香住区小学校等再編準備事業費等。

■国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

佐津診療所、兎塚・川会診療所、小代診療所、兎塚・川会歯科診療所の職員給与等の増額。

■介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

介護保険事業基金繰入と職員給与等の増額。

■香住病院事業企業会計補正予算（第1号）

企業債利息の繰入。

■水道事業企業会計補正予算（第1号）

配水設備の工事請負費。

■下水道事業企業会計補正予算（第2号）

職員給与費の減額。

■国民宿舎事業企業会計補正予算（第1号）

観光開発推進等特別交付金の繰入。

臨時会

8月10日開催された臨時会において3議案が提案され、すべて原案通り可決しました。

■香住東港水産加工排水処理場整備常時の請負契約を締結

問　現在ある施設を解体して新しいのを造るということで、地元自治区から臭気の問題でかなりの反対があった。今度新しくなる施設でいろいろと改正点がある。地元自治区等、そして近隣の人からの苦情は全くなくなるというふうな設計になっているのか。

答　回分槽が、その当時も1系列ということで、どうしても中のポンプを替えるときに操業停止、ポンプを止めると脱臭槽とかの臭いが、全部止めてしまいますので、今回は2層で、片側運転で、ポンプが壊れたときは交換ということで、これも対応ができることになっています。

さらに脱臭装置を活性炭から土壌脱臭にし、土壌の微生物で分解しますので、臭気の問題は解消できると考えております。

賛成全員で可決

■町道無南垣訓谷線消雪施設更新工事の請負契約を締結

問　工期が3月25日ということで、住民の方から、1、2年前ぐらいから、消雪の水が出ないというようなことを聞いる。冬が来る前に工事を完成されたほうがいいのではないか。

答　今回の設計に当たり、ポンプの操作盤やその辺りの製作にもかなり日数を要するということもあり、全体の工事費から見ても、標準的な工期としても、6、7か月はかかるというようなことで3月末ということにしております。ただ、一日も早く完成はしたいと思います。

賛成全員で可決

■「町民バス」車両の購入契約を締結

問　入札に際して4WDの車両は1社しか製造していなく、競争性に劣るが、今後の入札の際にも問題ないという認識か。

答　今後の入札に際しても4WD車の調達に関して、社の扱いでも問題ないという認識です。

問　当該車両の定期点検、車検整備を含めその一切を、町民バス運行業務受託者において実施するということになっている。整備会社ではなく、町民バスの運行業者に任せるという理由は。

答　町民バスの車両と同様に全て点検や車検を運行委託業者に委託することにしています。

賛成全員で可決

町政を問う！

一般質問

９月定例会での一般質問は12人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や、将来に対する考え方など現状方針を問うものです。議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。内容については、議員本人が執筆（要約）したものを掲載しています。

議事録は議会ホームページでもご覧いただけます。

『いろいろな行事が行われる体育館』

学校体育館へのエアコン整備を
各区に最低１カ所の整備が現実的

みなみがき まこと
南垣 誠議員

この夏、各地で熱中症による被害が多数報道されたが、熱中症リスクは本町にもあり、事故が起こる前に体育館にエアコン設置を行うべきではないか。

今夏は、台風７号により避難所の開設もされ、いつどこで災害が発生するか分からない。熱帯夜の一夜を体育館で過ごすこともあり得る。子どもたちの学校生活環境の向上、安全対策、教職員の職場環境改善、避難所環境の向上など、メリットの多いエアコンの設置を求める。

町長 課題は多額の整備費用とランニングコストである。全ての小・中学校の体育館へ空調を整備することは財政的に困難であるが、各区に最低１か所の空調が整備された体育館を配置することが現実的な対策ではないかと考えています。

教育長 ここ10年間での気温上昇は結構限界のところまで来ている。熱中症は大概の学校で２、３件あり、ゼロとは言えず都度対応している。半永久的にクーラーもつけませんという話ではありません。

台風7号被害、復旧、課題への取組は!!
早期復旧と防災体制の確立に努めます

見塚（みつか）　修（おさむ）議員

台風7号は予想を越えた豪雨洪水被害であった。

①台風7号の想定と町の取組。

②被害状況。

③復旧方針、計画。

④学んだ教訓。

⑤今後の課題。

⑥防災への取組。以上伺う。

町長 ①気象庁から15日明け方に警報発令との連絡を受け、発令時には対策本部の設置を決めていました。

②家屋被害は浸水・半壊等77棟、道路51件、河川67件、農地・農業用施設560件、林道18路線等です。

③住家関係で消毒指導、災害ゴミ仮置場の開設、ボランテアセンターの立ち上げ等を行ない、復旧工事関係は国へ手続きを進めています。

④自主防災会と町、消防団との連携、自助共助の必要性を再認識。

⑤雨量計・水位計の増設、適時・適切な情報発令、職員の採用・研修・配置体制の見直しが課題です。

⑥防災センターは来年度に提案の予定です。

想定以上の浸水

左方面へ和牛の聖地旧熱田集落

旧熱田集落の新たな施策展開は
見て学び体験の場として検討します

藤井（ふじい）　昌彦（まさひこ）議員

但馬牛は世界農業遺産に認定され、和牛の聖地、純血種但馬牛のルーツとして旧熱田集落が兵庫県景観遺産に認定されたが、現在の旧熱田集落はすでに廃村となっており、電気、水道等のインフラはなく、無論トイレもない。道路も勾配が急峻で道幅が狭い。

①道の改修

②トイレを含めたインフラ整備

③ウオーキング等世界の但馬牛をアピールする新たな施策の展開

町長 ①景観を損ねるので手を加えずに道路の維持管理をします。

②来訪者も増え、トイレの整備は必要でありインフラ整備も検討します。

③大阪万博を機に県全体をパビリオンとして発信するフィールドパビリオンのSDGS体験プログラムに当地域が認定され、見て学び体験の場として内容を含め関係者と協議を進めていきます。

小城分教場

作山分校

小長迫分校

熱田分校

現在の廃校舎

廃校舎が現状のままで良いのか！
研究しながら対策を検討したい

小谷（こだに） 康仁（やすひと）議員

戦後、義務教育の見直しから山間部の奥まった集落の子供達も学校へ通う時代となりました。その後、集落の人々も減り、分校の役割も終え閉校して行きました。その分校には、村岡区の小城分教場や作山分校、小代区の小長迫分校や熱田分校があります。現在、熱田分校以外は校舎が瓦礫の山や壊れかけ寸前になっています。たくさんの子供達が通った、学舎をこのままの状態にしていてよいのか伺います。

町長 廃校になった後の校舎は、地区や個人に譲渡し、町の手を離れて活用されてきました。今後については、関係課とも協議し、現制度で適用できるものがあるか研究しながら現所有者に対し、解体、廃材撤去等のお願いを行う等の対策を検討していきたいと考えています。熱田分校は、管理人立会いの下で内部見学等を行っています。今後、周辺の環境整備を含めた様々な対応を検討していきたいと考えています。

水産業風評被害は他人事ではない！

水産業の風評被害への対応は
今後の動向に注目します

松岡（まつおか） 大悟（だいご）議員

8月24日から福島第一原発ALPS処理水の海洋放出が開始された。これにより福島県や東北地方の水産業への風評被害が懸念されている。

①香美町として、福島県や東北地方の水産業を支援する。

②今後、日本海側の水産業にもその影響が懸念されるが、支援策の想定はあるのか。

町長 本町も水産の町の一つとしてもちろん応援する気持ちを持っています。例えば、福島県や東北地方の方々と町内の漁業者・水産加工業者のつながりの中で消費の後押しや安全性の発信等により応援したいという機運が高まれば、関係者・関係機関と連携し、できることを検討します。今後、日本海側の本町においても影響が懸念されます。国の支援策とともに、町内漁業・水産加工業への影響について関係機関と情報共有しながら今後の動向に注目していきたいと考えています。

農業再生産に向けての災害復旧を
来年耕作ができるよう対応します

東垣（ひがしがき） 典雄（のりお）議員

台風7号による農地、農業用施設の被害について問う。

①農地、農業用施設の被害状況の調査集約は

②農地、農業用施設の復旧の対策、施策は

③災害で耕作を諦めるこのよう再生産に向けての災害復旧を求める。

町長 ①8月31日現在で各地区からの被害報告箇所610件について9月2日をもって全ての現地確認を終えました。

②国から補助のある災害については、復旧方法を選定し、災害査定を受けた後、工事を発注し復旧工事を実施します。

それ以外の小災害については町補助対象事業のため地元と調整しながら順次進めます。

農林水産課長 小災害について農地は50％の補助施設は65％の補助ですが激甚災害になりましたら農地74％施設80％の補助率になります。

町長 ③災害の復旧についてはできるだけ来年の作付けができるよう対応はしたいと思います。

台風7号による農地の被害

植物園、四季を彩る植栽で
植栽で入園者数の増に取組みます

上田（うえだ） 勝幸（かつゆき）議員

私の質問は、但馬高原植物園、園内に季節を感じさせる植栽をしてはどうかというのであります。私、度々、植物園を訪れますが、遊歩道など傷んでいる所の修理の跡は見ますが、植栽の方、昨年度150万円程かけたとのこと。どこがどう変わったか分かりません。植物園、多い年では入園者、3万人程あったようだ。近年は1万2、3千人で推移していると

但馬高原植物園

のこと。入園者を取り戻す意味でも、四季折々の植栽に力を注力すべきと考えます。入園者の増は隣のレストランの売り上げにも直接の影響をもたらすのだから。

町長 令和3年度に但馬高原植物園再生計画を策定し、長期計画の整備となりますが、村岡振興公社と連携しながら、植物園が四季折々の魅力を彩る園に再生するよう努めます。

他にイベントも季節毎に順次開催する予定です。色々な方策で入園者数の増に取組みます。

基本の考え方

「主体的な学び」になっているか

「対話的な学び」になっているか

「深い学び」になっているか

という視点から、授業をよりよくしていく

文部科学省「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」より

より主体性が育める教育現場を 十分整理しながら共有していきたい

吉川（よしかわ） 康治（やすはる）議員

魅力のあるまちをつくるには、魅力のある人を育む必要がある。その基礎は教育で、主体性を育む教育が重要とされる。その先にあるのがシビックプライドの醸成。

①香美町の主体性を育む学びの現状は。

②主体的に行動することや意識の醸成は非常に重要。どの様な状況か。

③体験学習など、より目的意識をもって取り組むことで、主体性をより育めると考えるがどうか。

教育長 ①授業の冒頭に、一時間の目的を提示し見通しを持たせ、粘り強く取り組み、終わりに一時間の振り返りをするというシステムを確立し、次の授業につなげています。

②主体性に関して、苦手な国民性を持っているのではというのが正直なところ。子どもたちが幸せになるための手法に関しては、向き合いたいです。

③一時間の授業では難しいですが、十分整理しながら話をしていきます。一番難しいのは共有で、教員との共有、保護者との共有。頑張りたいと思います。

甚大な被害を受けた住宅!

全ての被害者に何らかの行政支援を！ 基準外の支援は現行制度の中では難しい

西谷（にしたに） 尚（ひさし）議員

①村岡区長板の民家においても7号台風の被害を受けているにも係わらず支援制度からはずれているということで行政支援が受けられない。村岡・小代区には急傾斜地に住む高齢夫婦が多い。今後、何らかの手立てが出来ないか？

②本町は防災基金ではなく、財政調整基金で対応されている。この基金をスムーズに使用するに当って、将来的な規定作りの中で対応できないか？

③和田の住宅土砂災害においては半壊状態が手つかずで続いている。是非とも被害者に寄り添った取組みをお願いしたい。

町長 ①現行の制度での対応は無理です。人命に直面した場合は対応させていただきます。又、激甚指定の場合は、対応が可能な場合も有ります。

②防災基金を設立しなくても、現行の制度で何ら問題はないと思います。

③和田の住宅被害は大変なものがございました。今後の生活に向けて出来ることがあれば、対応させていただきます。

村岡区の土砂崩れによる住宅被害

各地で行事が再開

協賛金を受け付ける体制や予算は

補助や助成を希望されるイベントは、担当課へ相談を

森浦（もりうら） 繁（しげる）議員

地域行事やイベント開催の地域体制について伺います。各地で様々な行事が再開され、香住では、4年ぶりとなる花火大会が開催されました。香住ふるさとまつり以外にも、各地で小規模ながら、花火大会の企画やふるさとまつりや集落イベントが企画されています。地域の人々や来町者に楽しんでいただけるよう、協賛金を受け付ける体制と予算は。

町長 協賛金を受けられる体制と予算確保ついてですが、イベントにつきましては、町主催のもの、観光協会などの団体が主催するもの、実行委員会組織が主催するも、区や地域主催のもの、個人や民間主催のものなど、様々のものがあります。また、イベントの目的も、営利を目的とするもの、観光客を誘客する目的のもの、商店街等の活性化を目的とするもの、スポーツを通じた交流を目的とするもなど、その目的も多様です。町が予算化する補助金は、前年度の秋から年末にかけて、それぞれの所管課で検討した上で予算要望を行います。

台風7号被災者に寄り添った対応を！

対策本部を設置して対応します

谷口（たにぐち） 眞治（しんじ）議員

香美町を直撃した台風7号は、激甚化した豪雨をもたらし、住家の大規模半壊、浸水被害をはじめ、道路や河川や農地等に大きな被害が発生したが、どんな対応したのか、住宅浸水の原因の美の谷川のバックウォーター対策など抜本的対策が必要ではないか町長に問う。

町長 台風7号の24時間雨量248ミリの記録的な雨量により、住家をはじめ、道路、河川、港湾、農地など多くの被害をもたらしました。8月15日に対策本部を設置し、香美町全域に全員避難の「緊急安全確保」を発令し、避難所を開設しました。また、適用された災害救助法により、被災者の支援や被災家屋の認定調査並びに罹災証明書の発行、弁護士による無料相談会開設などを取り組んできました。道路、河川、農地等、林道の復旧工事は補正予算で対応します、兵庫県により、漁港の漂着物撤去や矢田川の堆積土砂撤去、立木伐採など河川改修が行われ、浸水被害の原因である美の谷川・矢田川の抜本的対策は県と町と地元関係者により検討します。

その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目
南垣　誠	まちの将来像「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」について問う（Part9）
	小中学校での授業料以外の費用負担について問う（Part10） 「修学旅行費の補助について」
	気になる事聞いてみる町長編 「デジタルサイネージの設置を」 「町内在住者の奨学金返済について」
	気になる事聞いてみる教育長編 「部活動の外部委託の進捗状況について」 「学校で朝食を」
見塚　修	コロナ後とウクライナ情勢からの課題を乗り越え、活力あるまちづくりを求めて（Part2） （協働・まちづくり編） 補助金交付要綱の見直し（改善）について伺う。
藤井 昌彦	台風7号被害復旧について
	兵庫型奨学金返済支援事業について
小谷 康仁	魚食の普及の取組について問う
東垣 典雄	協働のまちづくりの推進について
吉川 康治	持続可能なまち実現に向けた取組について問う　～農畜連携編～
西谷　尚	全国的なガソリン高騰について
	ALPS処理水海洋放出に伴う影響について
森浦　繁	プレミアム商品券の販売について問う
	新型コロナウイルス感染症対策について問う
谷口 眞治	おじろ観光協同組合の破産について問う
	小学校の統合・再編について問う
田野 公大	「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」が世界農業遺産に認定された、このことをどう活かすか

可能性が広がる教育のDX化

学習用端末の使用状況を問う
兵庫県平均中位を推移しています

田野（たの） 公大（きみひろ）議員

新聞報道で自治体により学習用デジタル端末の使用状況に差異があると指摘されていた。

①端末やデジタル教材等の使用状況は。
②DX時代に教育機会の多様化についての考えは。
③生成AIなどの対する対応は。

教育長　①使用状況については、「毎日使っている」が小学校6年生11％、中学校3年生3.1％で全国及び兵庫県平均より少し低い数値です。
　デジタル教材は平成26年頃に導入し、英語、国語、算数、理科と充実してきており、有効利用しています。
②デジタルネイティブ世代に対して学習方法や学ぶべき内容に変革が必要であると考えています。
③文科省の暫定的なガイドラインに沿って、事前に性質、メリット・デメリットを理解させることが必要です。現時点では限定的利用が適切と考えています。

請願 第4号

香美町議会議員定数削減に関する件

請願者　香美町小代区　田村　正明
　　香美町村岡区　西村　功
紹介議員　小谷　康仁
付託委員会　議会運営委員会

不採択

請願の趣旨

国勢調査によると、平成17年度の21，439人であった香美町の人口は、平成22年度で19，696人、令和2年度16，064人と減少を続けています。

一方で、香美町議会議員の定数は、合併時の協定により当初は20人であったものが、平成20年度に16人に見直され、その後も議会内でご検討をいただいたことは存じておりますが、結果としてはこれが維持されています。

議会は、町民の代表機関として、議決権を有し、地方政治の重要な担い手として位置づけられており、行政改革や効率化の観点のみで定数云々すべきではないというご意見もあると存じます。

また、多くの町民の意見を汲み取り、行政に生かすべきというお考えもあろうかと存じます。

しかし、最近の香美町議会議員選挙は、定数に対して立候補者が同数もしくはわずかに超える程度しかない状況で、さらに相当の期間を欠席しておられる議員もおられる中で、今までどおりの議会運営をしていただいております。

日本の人口が減少を続け、香美町の人口も減少を続け、様々な団体・組織が減少していく人口に合わせて、そのあり方を見直す必要が生じている中で、町民の代表である議会が先頭になって効率的な運営が出来る組織のあり方を示していく必要があると考えます。

つきましては、議員の皆様には議員定数の削減について、再考をお願いするものです。

質疑

東垣　典雄　議員

問　①この請願には具体的な削減人数の記述がないが請願人は何人の削減が望ましいと説明があったか。

②議員定数を現状維持する選択肢はないのか。

西川　誠一　委員長

答　①請願人からは4人削減が望ましいという発言がありました。

②この請願に対しては現状維持という概念で議論しておりました。この請願が採択されれば何人かの議員削減はしなければならないという思いのもとで議論を行いました。

討論

賛成　小谷　康仁　議員

人口が減少を続けている昨今、様々な団体、組織がその減少に合わせ、あり方を見直す必要が生じている。町民の代表である議会においては、先頭に立って効率的な組織運営のあり方を示していく必要がある。

香美町議会基本条例の第8章第15条において、議員定数は住民の意思を町政に反映できるものとし、町域人口などを考慮して香美町議会議員定数条例で定められています。

故に、議員定数は、一部の議員だけで話し合い決定するのでなく、町民の代表であり、町民の意思を反映できる我々議員1人1人がしっかりと協議し、町民に示すべきです。そして、あらゆる角度から議論を重ね、将来に繋げていこうではありませんか。

反対　藤井　昌彦　議員

1番目として、令和2年度香美町議会議員あり方検討委員会で定数現状維持の議決が出ております。

2番目として定数と立候補者の定員割れは過去生じておりません。長期療養中の2人の件ですが、議会、本会議、常任委員会、一部事務組合において、他の議員がカバーしており、負担がかかっているのは、自然な見方であるということです。

3番目に議会の効率的運営の模索は確かに必要だと思います。この請願については文末に、「議員定数の削減について、再考をお願いするものである」と明確に議員定数削減の請願文書であると判断した。私を含む会派の意見として、議員定数削減だけではなく、議員報酬、政務活動費等、議会のあり方全体を総合的に議会全員で議論し、人口動向だけでなく、広範囲にわたる香美町の地域性を考慮しながら、議会改革を含め、議会に隅々の町民の声が届く、議員の活動が見える、行動する議会としての活性化が求められるという結論に達しました。

反対　東垣　典雄　議員

この請願は 定数削減しかありません。定数削減は、一度削減すれば元に戻す、それから増加することは不可能です。反対の理由として2点申し上げます。

まず1点目、議員定数は、人口の要件でなく、面積、それから委員会構成、1常任委員会で多様な意見の討議ができる人数などの要件を加味して決定すべきです。

2点目、議会の存在意義である多様性に基づいた討議が必要であり、地域、性別、年齢、障害を持たれた方、職業など多様な人材が議会に、参画することが必要です。

議会の立候補のハードルを低くするため、国ではこの環境整備として公職選挙法の改正と改正地方自治法の成立です。公職選挙法は、選挙公営の拡大、具体的には、議員選挙において供託金制度が導入され、選挙用自動車の使用、選挙運動のビラ、ポスターの作成が選挙公営の対

象となりました。この改正は、費用負担が軽減され、立候補のハードルを下げることになります。2021年の香美町選挙にも、適用されました。また、2022年12月10日に地方議会議員の兼業規制を緩和する改正、改正地方自治法が可決、成立し、個人事業主の立候補のハードルを下げました。このように、環境整備を整え、議会への参画を高めようとする国の動きに反して、定数削減によってハードルを上げるべきではない。

反対　谷口　眞治　議員

議員定数の変更は、議会の根幹に触れる重要事項であるので、その変更は、議会制民主主義と民意反映の上から慎重に期すべきものであります。議員定数の削減は、すなわち、議員が少なくなれば町民の皆さんの多様な声が切り去られます。さらに、議会の町長に対するチェック機能を弱くするという問題があります。よって、反対であります。現行16の議員定数は、3年前に全議員で構成する町議会のあり方等調査特別委員会において現行定数を維持するとの結論を出しており、さらに、この6月に提出された夢望会からの議員定数の見直しについても、7月の全員協議会において見直しは検討しないことを多数で決議をしています

温泉保養館おじろん

追加議案

9月定例会において追加3議案が提案され、すべて原案通り可決しました。

■塵芥収集車の購入契約を締結することについて

問　**定例会や臨時会での議案提案ではなく、追加議案で提案した理由は。**

答　入札準備段階で、積載量の問題が生じました。現行と同じ4t車両で更新すると積載量が減ってしまう現象が生じ、車両選定等入札準備をやり直す必要が生じたためです。

問　**現行車両廃車後の処分方法は。**

答　官公庁オークションにより、売却予定です。

賛成全員で可決

■令和5年度香美町一般会計補正予算（第7号）

問　**台風7号による災害復旧に係る補正予算だが、今後激甚災害指定される見込みはあるのか。激甚災害に指定された場合、小災害等を町が設計管理することとなるため、職員の作業量も増加し、健康被害も懸念されるが、その対応は。**

答　激甚災害に指定されると、職員の負担が増え、健康管理に懸念が生じます。既に大規模災害については、治山林道協会への委託が決定していますし、まちづくり技術センター等への委託に関しても協議を行っています。農地災害においては激甚災害の指定見込みとの事なので、今後決定次第、予算の組み替え等作業負担が増える見込みですので、職員の健康管理に留意するよう指示を出しています。

問　**温泉保養館おじろんの指定管理者との契約で半期の定義とは？また予備費で既に充填している光熱費は今後どうなるのか。**

答　営業は9月4日で終えていますが、9月末日まで指定管理期間があるので、引き続き施設管理をお願いしています。既に支払った光熱費に関しては、予備費を必要に応じて商工費として光熱費として支払い処理しています。今後は町直営で運営します。

賛成全員で可決

■令和5年度香美町水道事業企業会計補正予算

賛成全員で可決

議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案番号	議案名	谷口 眞治	松岡 大悟	西川 誠一	南垣 誠	東垣 典雄	西谷 尚	小谷 康仁	徳田 喜代子	田野 公大	藤井 昌彦	見塚 修	森浦 繁	上田 勝幸	吉川 康治	西谷 高弘	岸本 正人
83	令和4年度香美町一般会計歳入歳出決算の認定について	×							欠				×			欠	一
84	令和4年度香美町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	×							欠				×			欠	一
85	令和4年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	×							欠				×			欠	一
請願4	香美町議会議員定数削減に関する件	×	×	×		×	×		欠	×	×			×	×	欠	一

10月22日 笠波トンネル開通

産業建設文教常任委員会（森浦繁委員長）では、９月７日、整備中の笠波トンネルを視察しました。

笠波トンネルは、香美町村岡区で進む「笠波峠除雪拡幅」の一環として整備されます。

この区画は、笠波峠の急こう配区画や大規模な地滑り危険個所を長さ１７４４ｍの笠波トンネルで回避します。

ウォーキング

日影区側

福岡区側

開通式典

北但西部の医療を担う

最新の装置で透析を行います。ベッドは21床で、その内1床は感染者用です。

公立香住病院東館稼働

総務民生常任委員会（田野公大委員長）では、7月13日、公立香住病院東館を視察しました。

高度な技術で内視鏡下で早期がんの手術を行います。

広い部屋でリハビリを行い、家でも動けるように訓練します。

香美町議会では、会派が実施する調査研究等に必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。この政務活動費は、条例に基づき、議員1人当たり月額5,000円（年間60,000円）を会派に対して支払われます。令和4年度は、9つの会派が政務活動費の交付を受けて活動しましたので、その収支について報告します。

地域を守る会	みらいの香美	清流会	かみ イノベーション	かみ活性
1人	1人	3人	1人	1人
小谷 康仁	東垣 典雄	藤井 昌彦	南垣　誠	森浦 繁
60,000円	60,000円	180,000円	60,000円	60,000円
77,351円	26,287円	16,593円	95,117円	74,198円
		27,842円		
	41,090円		14,772円	
77,351円	67,477円	44,435円	109,839円	74,198円
0円	0円	135,565円	0円	0円
調査研究 6/2　健康ひょうご21県民フォーラム 7/22　会派合同勉強会 10/15　医療福祉シンポジウム 11/5　鹿問題フォーラム 11/6　カニ初競り 11/24～25　徳島県阿南市神山椎茸生産販売協同組合を視察。農産物の生産や流通販売経路等を調査研究。 徳島県海部郡海陽町安佐海鉄道株式会社を視察。DMV（Dual Mode Vehicle）を体験。 **研修** 4/8　地方議員政策セミナー 11/9　会派合同勉強会 11/23　地域医療をまもる但馬の会学習会	**調査研究** 11/15～16　岡山県久米南町を視察。デマンド交通の活用と廃校舎の活用について調査研究。 **資料購入** 活動のために必要な新聞購読、図書等を購入。	**調査研究** 5/27　廃校利活用に関する事例ヒアリング(うづかの森) 7/7　峰山高原リゾートにて研修。 **研修** 7/20～21　自治体決算の基本と実践（全国市町村国際文化研究所）	**調査研究** 11/15～16　岡山県久米南町を視察。デマンド交通の活用と廃校舎の活用について調査研究。 11/24～25　徳島県阿南市神山椎茸生産販売協同組合を視察。農産物の生産や流通販売経路等を調査研究。 徳島県海部郡海陽町安佐海鉄道株式会社を視察。DMV（Dual Mode Vehicle）を体験。 **資料購入** 活動のために必要な新聞購読、図書等を購入。	**調査研究** 7/21　佐津地区公民館で町政報告・懇談会 11/24～25　徳島県阿南市神山椎茸生産販売協同組合を視察。農産物の生産や流通販売経路等を調査研究。 徳島県海部郡海陽町安佐海鉄道株式会社を視察。DMV（Dual Mode Vehicle）を体験。

令和４年度政務活動費を報告します

政務活動費収支一覧表

会派名	日本共産党 香美町議員団	新風会	香美町公明党	香美創生
所属人数	1人	2人	1人	5人
所属議員	谷口 眞治	見塚　修	西谷　高弘	西川 誠一
交付額（a）	60,000円	120,000円	60,000円	300,000円
調査研究費				299,200円
研修費	11,400円	79,464円	26,287円	
広報・公聴費				
要請陳情等活動費				
会議費				800円
資料作成費				
資料購入費	41,046円	9,714円		
事務費	4,426円			
人件費				
支出額合計（b）	56,872円	89,178円	26,287円	300,000円
町への返還額（a）-（b）	3,128円	30,822円	33,713円	0円
政務活動費を使った主な活動	**資料購入** 活動のために必要な新聞購読、図書等を購入。 **調査研究** 12/3「人口減少時代の新たな地域づくりを考える」講演会 **事務費** 活動のために必要な事務用品等を購入。	**資料購入** 活動のために必要な新聞購読、図書等を購入。 **調査研究** 11/24～25　徳島県阿南市神山椎茸生産販売協同組合を視察。農産物の生産や流通販売経路等を調査研究。 徳島県海部郡海陽町安佐海鉄道株式会社を視察。DMV（Dual Mode Vehicle）を体験。	**調査研究** 11/15～16　岡山県久米南町を視察。デマンド交通の活用と廃校舎の活用について調査研究。	**調査研究** 11/15～16　岡山県久米南町を視察。デマンド交通の活用と廃校舎の活用について調査研究。 2/14～15　滋賀県米原市・長浜市を視察。古い町並みを活用した観光振興等について調査研究。 **研修** 4/8　田崎史郎氏講演会 11/9　但馬の医療を育てる会研修

編集 広報公聴常任委員会　発行 兵庫県香美町議会
令和5年11月9日発行　電話 0796-36-1963
https://www.town.mikata-kami.lg.jp/

この人 ここにあり

『イベントサークル ○ーえんー 会長 家前（いえまえ） 昌敏（まさとし）さん』

◆イベントサークル　○～えん～

こどもたちと大人が一緒に楽しめる何かをやろう！！と少人数の仲間と飲み食いしながら話をしたところから始まり、令和元年から村岡を拠点に現在は10名で活動をしています。毎年一度は最低でもイベントを企画し、縁日やステージ、花火大会などで子供たちと一緒に楽しんでいます。

◆サークル結成のきっかけは？

村岡は良いところとよく言われ、町外から来られた方には自然がいっぱいで食べ物もおいしいといわれます。

しかし、村岡に住む私たちは週末になると家族で町外の公園やお店に出かけて過ごすこともあります。

こどもたちが外で遊ぶ機会も減り、遊んでいる姿を見る機会も減ってきたなと感じる中、少しでも地元で集まって遊べる機会や、おいしい物を食べてもらえる機会が作れないかと思い結成しました。

◆開催したイベントは？

令和元年に道の駅矢田川でハロウィンパーティを開催したのを皮切りに、但馬高原植物園でのハロウィンイベントや夏のスプラッシュガーデン、大糠地区での縁日＆ビアガーデン花火大会など行ってきました。村岡中学校吹奏楽部の演奏やこどもたちのダンス、高校生や地元バンドによるステージに射的やスーパーボールすくいなどの縁日、キッチンカーや町内飲食店様によるフードコート、地元企業の協賛による花火大会など毎回大勢の方に来場いただいてきました。

祭りの定番もちまきや今年は「うまい棒1万本まき」もさせていただきみんなで楽しい時間を過ごせたと思います。

途中、コロナ禍での開催には賛否ありましたが、「楽しかった」「また来たい」「次はいつ」とびっくりするほどの声を聞かせていただきました。

◆議会に一言

毎回、イベント開催で悩むのが駐車場のある会場探しです。国道沿いで安全のために断念したり、路上駐車が増えたこともあります。

町の施設を使用させてもらえたり、協賛していただけるよう働きかけていただけるとうれしいです。

編集後記

台風7号豪雨の到来は、私達の町に甚大な被害をもたらしました。

緊急安全確保「命を守る為の行動をとるレベル5」が発令されました。その被害は民家への浸水や土砂災害、農地災害など多くの傷跡を残しました。

被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、できる限り早い復旧に向けて議会も全力で取り組みます。

今回の台風被害では、暑い中を多くのボランティアの皆様にお力をお借りしました。

災害の中では、人と人との結びつきの重要性を改めて実感しました。

西谷　尚

広報公聴常任委員会
委員長 南垣　誠
副委員長 西谷　尚
委員 松岡　大悟
小谷　康仁
藤井　昌彦
上田　勝幸
吉川　康治